

# 公営住宅を活用した高齢者自立支援拠点 (あんしんすこやかルーム)の設置

神戸市(人口 153万人)

## 概要

地域における新たな見守り活動の拠点を作るため、高齢化率の高い公営住宅の空き住戸等を活用し、地域包括支援センターの出先機関となる高齢者自立支援拠点(「あんしんすこやかルーム」)を設置。

同拠点には地域包括支援センターから派遣された見守り推進員が滞在し、近隣に居住する高齢者への見守り支援等を行っている。

## 背景

神戸市では、阪神・淡路大震災の発生以後、被災高齢者等の見守り活動を重点的に行うとともに、市内の地域包括支援センターに独自に見守り推進員を配置するなど、地域見守り活動を全市的に展開してきたところであるが、災害復興公営住宅を含む公営住宅では、一人暮らし高齢者や老老世帯等が増加し、高齢化率が40%を超える住棟も増えつつあり、超高齢社会を迎えるに当たり、新しい地域見守り活動の拠点づくりの推進が求められていた。

## 高齢者自立支援拠点(あんしんすこやかルーム)

### 1. 概要

高齢化率の高い公営住宅(市営住宅・県営住宅)の空き住戸等を活用し(補助金適正化法に基づく目的外使用)、地域包括支援センターの出先機関となる高齢者自立支援拠点を設置。

地域包括支援センターから派遣された見守り推進員(社会福祉士、介護福祉士、ヘルパー等の有資格者)が滞在し、近隣に居住する高齢者への見守り支援等を行っている。



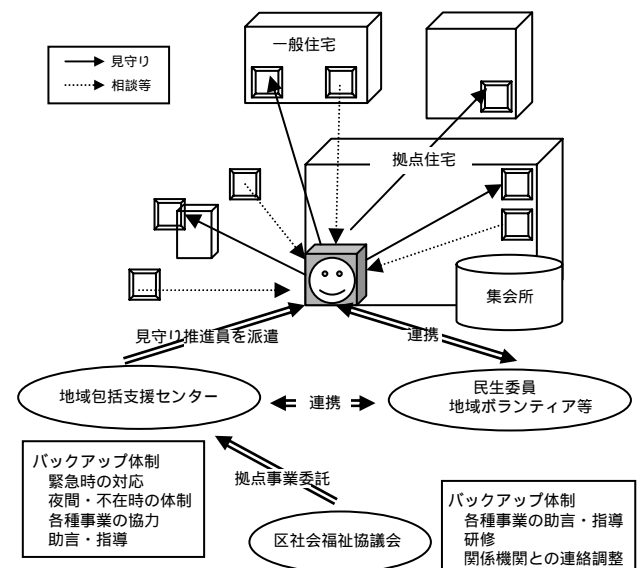
【あんしんすこやかルーム】

### 2. 業務内容

地域の民生委員や友愛訪問活動グループと連携しつつ、見守り推進員が近隣の一人暮らしの高齢者等を訪問し、安否の確認や閉じこもり防止のサポートを実施。

役割分担としては、民生委員等が対象世帯を広く浅くカバーし、介護の必要性が高まってきた高齢者等を対象に、見守り推進員が福祉職の専門性を活かした支援を実施している。

また、一人暮らしの高齢者等について、地域住民間での見守りができるよう、集会所を活用して地域のコミュニティづくりを支援するとともに、介護予防支援の窓口として高齢者や家族の相談等に応じている。



【活動イメージ】

### 【活動概要】

#### 拠点を活用

- 滞在型・巡回型見守り
- 生活相談
- 支援者との連絡調整
- 緊急時の対応など
- コミュニティづくり支援(ご近所関係づくり)
- 健康づくり支援(介護予防など)

#### 集会所を活用

仲間づくり・交流事業  
ミニデイサービス・ふれあい喫茶 など  
会食サービス など  
健康づくり教室、健康相談 など  
栄養教室、栄養相談 など  
地域住民等と協力して実施

### 3. 活用制度

補助金適正化法に基づく公営住宅の目的外使用  
高齢者自立支援ひろば事業  
…あんしんすこやかルーム開設費、運営費  
地域介護・福祉空間推進交付金  
…備品、室内設備等費用

#### 実績・評価

##### 【実績】

あんしんすこやかルーム：市内2か所  
見守り推進員：150名（ルームへは4名派遣）  
訪問世帯数：200世帯（拠点住宅内）

##### 【評価】

住宅内に見守りの拠点を設置したことにより、住民に安心感が生まれつつある。今後は、あんしんすこやかルームの機能充実を進めるとともに、戸別訪問やコミュニティづくりなど、これまでの見守りサービスに加え、自治会や民生委員などの地域住民やボランティアとともに、新たな地域見守りの拠点として、あんしんすこやかルームを展開していく。

#### 関連部局・連携のポイント

##### 【関連部局】

担当部局	都市計画総局 住宅政策課
関連部局	保健福祉局 介護保険課

##### 【連携のポイント】

今後の「あんしんすこやかルーム」の展開については、保健福祉局において、平成18年度に設置したモデル事業の有効性について評価・検証を行い、市営住宅における本来入居者の入居を阻害しないことに留意しつつ、都市計画総局と連携を図っていく。

#### 問い合わせ先

##### 【問い合わせ先】

都市計画総局 住宅政策課  
078-322-5568